

平成27年度

事業活動報告

社会福祉法人 すこやか福祉会

障害者支援施設
かたくりの里

〒953-0103

新潟県新潟市西蒲区橋本88番地1

TEL 0256-82-1811

FAX 0256-82-1815

社会福祉法人すこやか福祉会 障害者支援施設 かたくりの里は、全国身体障害者施設協議会に加盟する施設として、『障害者の権利に関する条約』の理念を遵守し、「最も援助を必要とする最後の一人の尊重」「可能性の限りない追及」「共に生きる社会づくり」という全身協の基本理念を実現するため、ここに倫理綱領として定めます。

全国身体障害者施設協議会 倫理綱領

社会福祉法人 全国社会福祉協議会
全国身体障害者施設協議会

1. 私たちは、基本的人権を尊重し、利用者一人ひとりのその人らしい生活を支援します。
2. 私たちは、日々の実践を検証し、利用者に安全、安心、快適なサービスを提供します。
3. 私たちは、自己研鑽に努め、専門的な知識と技術と価値観をもって、良質なサービスを提供します。
4. 私たちは、利用者に必要な情報をわかりやすい方法で提供し、要望にはすみやかに対応します。
5. 私たちは、広く重度の障害のある方々のためのサービスを開発し、提供します。
6. 私たちは、重度の障害のある方々をとりまく環境の改善と福祉文化の醸成に努めます。
7. 私たちは、関連機関・団体、地域住民等とともに、事業を展開します。
8. 私たちは、透明性を堅持し、健全かつ活力ある経営にあたります。

社会福祉法人 すこやか福祉会

職員行動規範

前文

私たち社会福祉法人すこやか福祉会職員は、自らの行動に責任と自覚を持ち、地域社会の一員として行動するための基本的な指針として「社会福祉法人すこやか福祉会 職員行動規範」を定め、これを職員相互で常に確認し合い遵守します。

1 社会的ルールの遵守・コンプライアンスの徹底

私たちは、強い意志の下、関係法令、法人の定めた諸規程はもとより、法人の理念や社会的ルールの遵守を徹底します。

2 個人の尊厳

私たちは自らの先入観や偏見を廃し、利用者の個性や気持ちを真摯に受け止め、誠実な態度で、利用者一人ひとりに接します。

3 人権の尊重

- (1) 私たちは、利用者の人権と人格を最大限に尊重し、個性や感性の違いを認め、全ての人が平等であるという考えの下に行動します。
- (2) 私たちは、体罰、暴言、威圧的・強制的対応、無視、差別的対応、セクシャルハラスメント、身体拘束、プライバシーの侵害など、人権侵害行為は決して行いません。
- (3) 私たちは、人権侵害行為や虐待を発見した場合は、直ちに上司に報告し、「虐待防止委員会」を速やかに開催し適切に対応します。

4 安心で安全な暮らしの保障

- (1) 私たちは、リスク管理に万全を期し、事故防止および安全の確保に努めます。
- (2) 業務上知り得た個人情報決して外部に漏らしません。退職後も同様とします。

5 自己選択・自己決定権の保障

私たちは、利用者の特性に応じた働きかけや説明を行い、可能な限り自己選択・自己決定ができるように支援します。

6 満足度の高いサービスの提供

私たちは、利用者の意思やニーズを十分に把握し、「やすらぎ」と「生きがい」のある生活が送れるようにサービスを提供します。

7 社会参加の促進

私たちは、社会資源の活用や情報提供を積極的に行い、利用者の社会参加の促進に努めます。

8 専門性の向上

- (1) 私たちは、利用者支援の専門性を高めるため、常に努力と自己研鑽に努めます。
- (2) 私たちは、各種資格の取得に努め、専門性の向上を図ります

(施行期日)

この規範は、平成26年1月1日から施行する。

平成27年度かたくりの里 事業報告

<目 次>

	ページ
1 基本方針	1
2 平成27年度事業方針	1
3 障害福祉サービス事業	2
施設入所支援	2
生活介護	2
短期入所	3
地域生活支援事業	4
指定特定相談支援事業	4
4 職員体制	5
5 生活支援課業務報告	5
生活支援係	5
入所支援係	6
地域支援係	7
療 護 係	7
総 務 係	14
相談支援係	15
業務委員会	15
権利擁護	15
安 全	16
生活向上	18
防 災	20
環境整備	20
研 修	21
日中活動	24
情報管理	29
ノーリフト対策検討会	30
業務検討会	31
障がい福祉施設等指導監査	32
6 外部行事参加状況	33
7 補助金・助成金事業報告	33

1 基本方針

施設の目的

障害者支援施設 かたくりの里は、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、入浴、排せつ及び食事の介護、創作的活動又は生産活動の機会の提供その他必要な施設障害福祉サービスを適切かつ効果的に行うことにより、障害者の福祉の増進を図ることを目的とする。

施設の方針

障害者が日常生活または社会生活を営むための支援は、障害の有無にかかわらず等しく基本的人権を享有するかけがえのない個人として尊重されるものであるとの理念に乗っ取り、すべて障害者は、個人の尊厳が重んじられ、その尊厳にふさわしい支援を保障される権利を有するものとする。すべて障害者は、社会を構成する一員として社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に参加する機会を与えられるものとする。利用者の尊厳、人権とプライバシーを重視した対応に心掛け、充実した人生を安全で快適な生活環境のもとで過ごせるように配慮する。また、高齢化等による2次的な障害の防止に努めると共に、地域社会との幅広い交流を通して健全な生活が営まれる開かれた施設の運営を行う。

施設の中だけで生活が完結することではなく、社会の構成員として社会参加し、障害者問題に対する地域住民からの理解と認識を深めるための啓発活動も必要である。利用者の社会生活を促進し、地域生活・在宅生活へ移行するために必要な援助や地域等との連絡調整を積極的に行う。

○利用者個人の尊厳を尊重し、適性、障害の特性その他の事情を踏まえて個別支援計画を作成します。これに基づき利用者主体のサービスを提供するとともに、その効果について断続的な評価を実施し、利用者に対して適切かつ効果的なサービスを提供します。

○生活の場としての施設支援サービスの提供とともに、地域生活への移行を意識した社会生活力向上プログラムや積極的な社会参加を促進していくプログラム、日中活動を提供します。

○開かれた施設を目指し、地域交流スペースの活用と地域との連携を図ります。

2 平成27年度事業方針

- (1)「やすらぎと生きがい」を合い言葉に、明るく楽しい生活空間を創造する。
- (2)利用者のニーズを把握し、個別支援計画を策定し実施する。
- (3)利用者が積極的に社会参加できるよう社会生活力向上プログラムを計画し実施する。
- (4)利用者が主体的に活動できるよう自治会と協力する。
- (5)計画相談支援の事業を行うことにより、障害福祉サービス利用者の利便性を向上させる。
- (6)利用者の苦情等に対しては、真摯に受け止め解決を図るよう努める。

3 障害福祉サービス事業

■指定障害者支援施設の指定更新

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第29条第1項の規定による指定障害者支援施設の指定更新をした。

事業所名 障害者支援施設 かたくりの里
 サービスの種類 生活介護 施設入所支援
 事業所番号 1510100371
 指定更新年月日 平成27年10月1日
 指定更新の有効期間 平成33年9月30日まで

■施設入所支援（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

定員50名(ALS居室利用者は定員内数で利用する)
 障害程度区分4(50歳以上は区分3)以上が該当する。

入退所動向

退所 平成27年 5月男性 11月男性 合計 2名
 入所 平成27年 6月男性 10月男性 合計 2名

平成28年3月31日現在

性別	利用者数	障害支援区分				年 齢		
		3	4	5	6	最小年齢	最高年齢	平均年齢
男性	33	1	6	6	20	33歳7ヶ月	79歳 0ヶ月	62歳6ヶ月
女性	18	0	2	6	10	24歳6ヶ月	74歳 8ヶ月	60歳 0ヶ月
	51	1	8	12	30	男女平均年齢	61歳 7ヶ月	

平成27年度施設入所支援 利用状況・稼働率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月末登録者数	51	51	51	51	51	51	52	52	51	51	51	51
延べ人数	1422	1548	1522	1557	1496	1470	1541	1530	1577	1537	1450	1575
入院・外泊	108	18	8	24	85	60	53	6	4	44	29	6
稼働率(%)	94.8	99.8	101.5	100.5	96.5	98.0	99.4	102.0	101.7	99.2	100.0	101.6

ALSの利用者は、平成25年5月より入所利用開始した。

3月末時点で、定員50名に対して利用者51名となっている。

平成27年度の年間稼働率は99.6%

平成28年3月末待機者

男性 13名
 女性 7名 計 20名

■生活介護（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

定員 58名

施設入所は区分4(50歳以上は区分3)以上

地域生活(通所等)区分3(50歳以上は区分2)以上が該当する。

支給量は施設入所、地域ともに月数－8日

営業時間は8:30～17:00。土日と年末年始の送迎サービスは実施しない。

平成28年3月31日現在

平成27年度 通所 登録利用者 30名

(地 域)		障害程度区分					年 齢		
性別	利用者数	2	3	4	5	6	最小年齢	最高年齢	平均年齢
男性	19	0	6	3	7	3	22歳10ヶ月	64歳0ヶ月	51歳 5ヶ月
女性	11	0	5	2	1	3	22歳11ヶ月	64歳4ヶ月	46歳 10ヶ月
	30	0	11	5	8	6	男女平均年齢 49歳9ヶ月		

平成27年度生活介護 利用状況・稼働率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
施設利用者	1046	1146	1118	1155	1141	1073	1154	1118	1170	1148	1046	1167
通所利用者	255	240	245	267	236	258	262	218	229	22.5	253	271
延べ人数	1311	1386	1363	1424	1377	1331	1416	1336	1399	1373	1299	1438
稼働率(%)	74.8	77.1	78.3	79.1	76.6	76.5	78.8	76.8	77.8	76.4	77.2	80.0

■短期入所（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

平成27年度利用登録者数 40名 男性 23名 女性 17名

地 区	男性	女性	短期利用の理由（人）	特 記 事 項
西蒲区	7	5	介護者の負担軽減(9)本人希望(4)	生活介護併用(9) 入所待機(2)
西 区	1	0	介護者の負担軽減(1)	
南 区	4	2	介護者の負担軽減(5)本人希望(1)	生活介護併用(1) 入所待機(1)
北 市	1	0	介護者の負担軽減(1)	
秋葉区	1	0	介護者の負担軽減(1)	
燕 市	6	9	介護者の負担軽減(14)本人希望(1)	生活介護併用(6)
加茂市	2	0	介護者の負担軽減(2)	
三条市	0	1	本人希望(1)	
長岡市	1	0	介護者の負担軽減(1)	

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者数	26	25	25	24	29	28	28	27	26	25	24	27
利用日数	135	139	135	144	154	152	143	146	142	137	148	164

定員 5名 併設福祉型短期入所サービスを提供した。

ほぼ半数の利用者が生活介護を併用し、短期入所と日中活動を併用する短期入所(Ⅱ)を算定。宿泊をとまなうサービス提供なので、施設入所支援係との連携が不可欠であり、入退所に伴う事務処理、荷物のチェック等、利用者に迷惑がかかからないように職員間での連絡・報告を確実にする必要がある。

□国土交通省短期入所協力事業

自動車事故が原因で、重度の後遺症を持つため、日常生活動作について常時又は介護が必要な状態の方を受け入れる施設として、平成27年10月に指定を受けた。

■地域生活支援事業(日中一時支援)

地域生活(居宅生活)されている障害者家族等の介護負担の軽減、障害者の見守りや生活の介護を目的にサービス提供を実施した。入浴の確保、社会参加を目的にした方に対してもサービスを提供した。
生活介護非該当利用者2名にサービスを提供した。

指定特定相談支援事業

地域連携相談室 すこやか 平成27年度事業活動報告

(1)相談支援事業の概要

「地域連携相談室 すこやか」の指定計画相談支援の事業を行うことにより、障害福祉サービス利用者の利便性を向上させる。」

- 指定計画相談支援
- サービス利用支援
- サービス等利用計画案及びサービス等利用計画の作成
- 継続サービス利用支援
- サービス等利用計画の見直し

<実施状況>

月	計画作成数	モニタリング数
4	9(7)	1
5	4(3)	1
6	3(2)	5
7	4(3)	6(3)
8	4(3)	2(2)
9	10(8)	3(1)
10	8(8)	2
11	2	4(2)
12	3(1)	4(1)
1	2	4(2)
2	2	4(3)
3	5	6(4)
合計	56(35)	42(18)

()は、かたくりの里入所者数。

(2) サービス等利用計画作成対象者

【人員配置】 管理者 1名
相談支援専門員 2名(常勤専従1) (常勤兼務1)

【主たる対象とする障害】 特定しない

【営業日時】 月～金 8:30～17:15 但し、祝日、12月29日～1月3日を除く

【通常の事業実施範囲】 新潟市西蒲区 燕市 弥彦村

【他機関との連携体制】

・障害者支援施設かたくりの里 生活支援・入所支援係、地域支援係と連携した。

- ・西蒲区自立支援協議会への参加と共に、西蒲区健康福祉課、新潟市障がい福祉課と連携をはかった。
- ・新潟市西蒲区の相談支援センターと連携した。
- ・新潟市障がい者基幹相談支援センターと連携した。

4 職員体制

■人員配置

職種等	人数
施設長	1
医師(嘱託)	1
サービス管理責任者	2
看護	3
作業療法士	1
生活支援員	31
管理栄養士	1
事務員	2
運転員	2
特定相談支援事業	
管理者(兼務)	1
相談支援専門員	2

※生活支援員は兼務・パートを含む人数

人員配置による報酬算定状況

施設入所支援

- ・夜勤職員配置体制加算
- ・重度障害者支援加算
- ・栄養マネジメント加算

生活介護

- ・人員配置体制加算 (1.7:1以上)
- ・福祉専門職員配置等加算 (専門職員 22名)
- ・常勤看護職員等配置加算
- ・リハビリテーション加算

短期入所

- ・栄養士配置加算

※福祉・介護職員処遇改善加算(I)5.0%を算定

■会議

すこやか福祉会定例会議	毎月 1回
運営会議	毎月 第2水曜日 16:30~
業務検討会	毎月 第1火曜日
職員会議	毎月 第1火曜日

5 生活支援課 業務報告

■生活支援係

□個別支援計画の取り組み

【活動内容】

- ・生活支援員が利用者を担当することで役割分担を行い、計画書の作成が円滑に実施できた。
- ・カンファレンスを利用者、及び生活支援員・看護師・作業療法士・管理栄養士・相談員等、各専門職種の参加にて実施したことによって、利用者のニーズに対して多職種で支援内容を検討しケアプランに反映できた。
- ・原則として中間評価を6か月後、終了時評価を12か月後に実施。又、再アセスメントを、前回作成

したアセスメントシートを基に実施したことで、利用者の思いや身体状況等の変化を情報収集しやすくなった。

- ・利用者の急な状態変化、ニーズの変化には、随時カンファレンスを開催してケアプランの再検討を行うことにより円滑に支援を実施できた。
- ・意思疎通が困難な方への同意については、家族面会時の説明や家族宛に郵送で対応した。
- ・完成したケアプラン一式は、支援計画作成会議録と共に回覧した。
- ・ケアプランマニュアルの更新を行った。

【反省・課題】

全職員がケアプランの内容を把握できるための方法を工夫していくことが課題である。今年度は更新時に変更、追加された支援内容についての注釈を付けた文書を回覧してみた。以前よりわかりやすくなったとの声もあったが、まだまだ検討が必要である。統一された援助を実施していくことで、利用者の生活や心身の不安要素を取り除き、安全・安楽な生活を提供していきたい。

■入所支援係

□介護・相談支援

【活動内容】

- ・利用者がよりよい生活を送れるよう、業務検討会、ノーリフト検討会にて決定した改善提案を実施した。
- ・入院時の病院、家族との連絡調整、利用者に必要な支援を行った。
- ・入退所時の必要な支援、調整を行った。
- ・成年後見制度利用のための支援を行った。

【反省・課題】

グループ会議を定例から不定期開催にしたことにより、開催しにくくなり、細かなケース検討や業務検討が別の会議等にて議論された。少数での会議を必要とする要望もあり、検討が必要である。

利用者の身元引受人や金銭管理をされている方の高齢化等により、今後の施設利用に不安を感じている、または支援が必要な方が増えてきた。そういった利用者をピックアップし、成年後見制度利用のための支援を行った。他にも支援が必要な利用者があるため、継続して支援を行っていきたい。

■地域支援係

□生活介護(通所)

今年度新規受け入れ者数 3名

【活動内容】

- ・相談、利用調整
- ・送迎の実施
(実施区域 新潟市西蒲区、燕市、弥彦村)
- ・食事、入浴、排泄等の介護や日常生活上の支援
- ・日中活動の提供
- ・個別支援計画の作成
- ・ケース会議への参加
- ・特別支援学校実習生の受け入れ(施設見学・体験学習)

新潟県立月ヶ岡特別支援学校

・高等部3年女子 担任1名付添 (10月21日、10:30～14:30)

新潟県立東新潟特別支援学校

・高等部3年男子 担任1名付添 (9月30日、10:30～14:30)

日 課

9:00～ 送迎

10:00～ 施設到着・バイタルチェック・お茶

10:15～ 入浴・リハビリ

12:00～ 昼食・休憩

13:00～ 入浴・リハビリ

13:45～ 日中活動

15:00～ 送迎

□短期入所事業

今年度新規受け入れ 6名

【活動内容】

- ・相談、利用調整
- ・送迎の実施
- ・入退所時の受け入れ

【反省・課題】

(通所事業)

- ・疥癬に発症された方がいたため、通所、短期入所の利用者の方に「感染症報告についてのお知らせ」と「感染症対策についてのお願い」を説明、配布させていただき感染防止に努めた。今後も、利用者の皮膚状態の様子観察を継続していきたい。
- ・利用者の増加、多方面の送迎により施設到着時に慌ただしさがあった。業務改善で送迎時間の見直しを行なったことで、慌ただしさが解消され、利用者の方々も喜ばれていた。
- ・介護福祉機器の活用により安全な介助と職員の腰痛予防に取り組むことができた。

(短期入所事業)

- ・短期入所担当職員が配置され、短期入所利用者の入退所がスムーズに行われるようになり、生活支援・施設入所支援係との連携不足も改善された。
- ・介助量の多い短期入所利用者の受け入れの場合、生活・施設入所支援係の職員に負担がかかることが多かったが、必要に応じ地域支援係が早番や遅番で対応することで改善された。
- ・短期入所者のヒヤリハットがあったため、状態の確認、情報の共有を徹底する必要がある。

■療護係

□看 護

【活動内容】

1. 利用者の健康管理

- ・朝の申し送りから情報を得て、利用者の体調のチェックを行った。

- ・利用者の体重、体温、血圧測定を月1回行った。
- ・必要に応じて臨時に受診した。

2. 利用者の医療処置

- ・排便チェック表に添って排便状態を把握し、必要に応じて浣腸、坐薬等で排便の介助を行なった。
- ・膀胱洗浄、留置カテーテル交換、褥創処置、軟膏処置、包交、点眼、点耳、点鼻、爪切り、経管栄養滴下、注入、痰吸引等を行った。
- ・使用した医療物品の消毒、高圧滅菌等を行った。
- ・医療廃棄物の管理し、処理の依頼をした。

3. 利用者の通院介助

- ・通院の送迎を支援した。
- ・主治医への状態報告、主治医からの指示を受け次回の予約確認をした。
- ・調剤薬局へ処方箋を送り、薬の受け取りをした。
- ・個人のカルテに受診内容の記録を行い、必要事項はケース記録等でスタッフに伝達した。
- ・医務室の受診予定表に次回の予約を記入した。

4. 利用者の服薬の管理

- ・主治医から処方された薬を医務室で保管した。
- ・内服薬は個人別に投薬車で管理した。
- ・利用者の1日分の内服薬の準備を行なった。朝、昼、夕、眠前それぞれのトレーに薬を用意した。
- ・誤薬を防ぐために、薬を用意した人がチェック表にサインをした。別の職員(看護師か介護スタッフ)が薬の再確認しサインを行なった。
- ・昼の薬は看護師が、朝、夕、眠前の薬は介護職員が責任をもって利用者にと薬した。

5. 嘱託医診療の支援

- ・大西洋司先生に月2回診察時、診察の介助を行なった。
- ・利用者の体調管理に関する相談をし、容体が悪化した場合紹介状をいただき他科受診を行った。
- ・利用者の入退院があったときは報告した。
- ・インフルエンザ予防接種の準備と接種の介助をした。
- ・大西先生が主治医になっている利用者の定期処方を毎週1回行なった。
現在処方してもらっている42人の利用者を四つのグループにわけ、毎週月曜日にファックスを送り、翌週の水曜日に薬を受け取りに行った。
- ・肺炎球菌予防接種の準備と接種の介助を3名行った。

6. 安藤医院(泌尿器科)の往診介助

- ・月2回、水曜日の午後往診していただき17人の方の主治医になっていただいた。12人の方のフォーレ交換と17人の方の薬の処方を依頼した。
- ・往診1週間前に個人の定期薬をファックスで依頼した。
- ・フォーレカテーテルの交換、膀胱洗浄の介助を行った。
- ・月初めの診療時に往診費と利用者の請求額を集金し支払いを行なった。

7. 利用者の入退院の準備および介助

- ・看護情報を作成し入院時用意した。
- ・病院に持っていく薬等の準備をし、介護スタッフに衣類等の入院準備を依頼した。
- ・入院中は、支援員とともに病院との連絡を行った。
- ・退院が決まったときは病院の担当看護師より必要な情報を受け取った。

8. 利用者の体重測定、検温、血圧測定を月1回行った。

9. 年間保健衛生計画の実施

・インフルエンザ予防接種

施行日:平成27年 11月

接種人数:利用者50名 職員67名

・健康診断 年2回

1回目実施日:平成27年8月27日(木) 午後13時30分～16時00分

健診項目:検尿、採血、心電図、血圧測定、診察

参加人数:46名

2回目実施日:平成28年2月18日(木)午後13時30分～16時00分

健診項目:検尿、採血、心電図、血圧測定、診察

参加人数:50名

胸部レントゲン撮影:22名

10. スタッフ研修の実施

- ・バイタル測定等の説明。
- ・新入職員へのオリエンテーション。
- ・ノロウイルス講習
- ・スキンケア講習
- ・鼻腔口腔吸引、経管栄養の滴下、半固形注入の研修と評価

11. その他…処置に使用する薬剤、医療材料、物品等の購入及び管理。

【反省・課題】

- ・経管栄養を行う利用者が4名になった。
- ・大西先生に利用者の症状によっては他の医療機関への紹介状を書いていただき、スムーズに受診をすることができた。
- ・利用者の健康診断が昨年同様に行えた。
- ・今年度インフルエンザにかかった利用者、職員はいなかった。また、感染性胃腸炎にかかった職員、利用者とも感染は見られなかった。
- ・利用者によっては、入院や手術などが数例あった。

入院状況一覧(平成27年4月～平成28年3月)

	入院治療	
	人数	期間(日数)
内科	7	237
小児科	2	56
整形外科	1	31
合計	10	324

病院別受診状況(平成27年4月～平成28年3月)

病院名	受診件数
岩室リハビリ病院	234
県立吉田病院	229
西蒲メディカル病院	46
大西医院	35
設楽皮膚科	31
佐潟荘	24
金子整形外科	17
大島病院	17
燕労災病院	16
安藤医院	11
新潟大学付属病院	11
渡辺耳鼻科	9
いわぶち整形外科	5
おおくら耳鼻科	4
新潟病院	4
新潟医療センター病院	4
しまがきクリニック	3
新潟市民病院	3
西新潟中央病院	2
※その他	3
計 22カ所	708

※ その他	件数
ひらさわ歯科	1
さくらざわ眼科クリニック	1
坂井眼科	1

□機能訓練

【活動内容】

1. 入所者及び通所利用者の機能訓練

- ・1日25名程度の個別機能訓練実施。
- ・機能訓練室やベッド上での個別リハビリや自主訓練を行うことで、機能の維持・回復に努めた。
- ・その他、塗り絵や手作業など余暇活動の提供を行うことで達成感を得つつ楽しく充実した1日になるよう工夫した。

2. 歩行補助具(車椅子や歩行器など)の申請・メンテナンス

- ・各利用者の身体機能に合った車椅子や歩行器を紹介することで、移動を快適に、かつスムーズに行うことが出来るようアプローチした。
- ・日常生活上で感じる不自由さの相談を受け、適切な福祉用具などの選定にあたった。

【反省・課題】

今年度もリハビリ中の事故なく、終わられた。加齢に伴い、身体機能の低下がみられる利用者も多いが、メニューを変更することで継続してリハビリを行うことができた。

作業活動が定着し、昨年度よりも多くの利用者が作業活動に参加して頂いた。その分、利用者的人数が増えるため場所の確保が難しかったが、大きなトラブルなく活動支援ができた。また、今後も参

加利用者が増えることで、一人一人に対応する時間ができるだけ減少しないよう、他職員と連携し、利用者に合わせたサービスが提供できるようにしていきたい。

□ 栄養

【活動内容】

1. 栄養ケアマネジメントの実施

・毎月の体重測定を基に栄養面でリスクをかかえている利用者をピックアップしている。栄養面で少し問題のある(中リスクという)人の割合は、月平均15.5%であった。また、かなり問題のある(高リスクという)人の割合は、月平均11.4%であった。かたくりの里での栄養面で高リスクのある人は、主に褥瘡がある人、急激な体重減少を認める人(1ヵ月に3%以上の体重変化のあった人)、高度肥満の人をいう。精神面に問題のある利用者は、突然食べなくなったりするので急激な体重減少が起き、再び食べ始めると体重は回復するが、血液検査をすると、真の回復ではなく栄養状態が悪いままなので、褥瘡その他疾病の予備軍として観察していく必要がある。その場合、一時的に栄養剤の提供をするが、時には長期になってしまうこともあった。

・食事は咀嚼して食べることで、健康の維持や増進につながる。また、「食べる」という行為は、口腔内が清潔に保たれないと維持できない行為である。今年度も利用者の口腔ケアを他職種と共に行ってきた。利用者は、食事を美味しく食べたいと思っていても歯の状態が悪い(グラグラしていたり、欠損していたり)方が多く、歯科受診をためらっている利用者もいる。歯科医師にうかがったところ、そういう利用者の為にも口腔内の掃除は必要とのことなので継続していく。

・嚥下面に問題のある利用者も数名いる。口腔ケアと食形態の選択などで「食べる」という行為が維持できるように今後も支援していきたい。

2. 安全かつ衛生的で季節感のある食事の提供を行う

・年間行事計画を作成し、季節感のある食事の提供に努めた。

行事食の中でも「すし屋台」が一番人気であった。年3回提供したが、おかわり自由なので、給食委託会社も驚くほどに食べていた。利用者のみなさんが大変楽しみにしている行事食なので来年度も継続していく予定である。

・安全かつ衛生的な食事の提供については、配膳する施設の職員も給食委託会社の職員も注意を払ったことにより、異物の混入(小骨1件、毛5件、紙やビニール片2件)はあったが、昨年よりは減少した。来年度も気を抜かずに注意していきたい。

今年度実施した行事食

月	行事	献立
4月	施設開所日(1日)	赤飯
	花見らしい献立(8日)	桜ご飯、桜餅
	豆腐料理(12日)	擬製豆腐(語呂合わせ)
	果物(15日)	いちご(語呂合わせ)
	昭和の日(29日)	ハムカツ、エビフライ
5月	端午の節句(5日)	太巻き、いなり、柏餅
	豆腐料理(12日)	豆腐の肉味噌田楽(語呂合わせ)
	果物(15日)	いちご(語呂合わせ)
	肉料理(29日)	ささみチーズカツ(語呂合わせ)

6月	豆腐料理(12日) 夏至(22日) 魚の日(25日) 肉料理(29日)	エビチリ豆腐 アイス 鮎の塩焼き ハンバーグデミソースかけ
7月	七夕(7日) 豆腐料理(12日) 海の日(20日) 土用の丑の日(24日) 肉料理(29日)	ちらし寿司、そうめん汁など 麻婆豆腐 冷やしうどん うな重 ヒレカツ
8月	土用の丑の日(24日) バナナの日(7日) 豆腐料理(29日) お盆(15日) 肉料理(29日)	うなぎの蒲焼き バナナ(語呂合わせ) 豆腐ナゲット 白身魚フライと海老フライ ささみチーズカツ
9月	重陽の節句(9日) 敬老の日(21日) 秋分の日(23日) 十五夜(27日)	菊ご飯 炊き込みご飯 栗ごはん、おはぎ ぜんざい
10月	体育の日(12日) ラーメン屋台(23日) 肉料理(29日)	和風ポークソテー ラーメン屋台(味噌味、醤油味) 牛肉のしぐれ煮
11月	文化の日(3日) 寿司屋台(12日) 七五三(15日) 勤労感謝の日(23日) 肉料理(29日)	わかめご飯 生寿司など 今川焼き 赤飯 牛すき焼き風煮
12月	豆腐料理(12日) 冬至(22日) クリスマス(25日) 肉料理(29日) 大晦日(31日)	揚げ出し豆腐の盛り合わせ 南瓜料理 クリスマスメニュー(鶏肉の足、ケーキ) ミートローフ、豚肉の柳川風 大晦日メニュー、そば
1月	正月(1日) 魚の日(3日) 七草(7日) 鏡開き(11日) 小正月(15日)	おせち料理 餅 海鮮丼 七草粥 おしるこ 五目いなり寿司
2月	節分(3日) 鍋の日(8日~10日) 寿司屋台(16日) 肉料理(29日)	太巻き、いなり、豆菓子 8日石狩鍋、9日すき焼き、10日キムチ鍋から選択 生寿司など 鶏肉のマヨ玉焼き
3月	桃の節句(3日) 鍋の日(9日~11日)	ちらし寿司 9日 海鮮鍋、10日 すき焼き 11日 長崎ちゃんぽん風煮込みラーメン鍋から選択

春分の日(21日)	おはぎ
肉料理(29日)	かしわ天

3. 給食会議の実施

毎月第3木曜日、14時から実施。

内容: 利用者の要望や意見、調理や献立についての要望、行事食についてなど

利用者の声には可能な範囲で応えるように努めた。

4. 嗜好調査

・期間: 8月1日～10日に実施した。

対象者: 入所38名(意思疎通不可能な利用者や入院されている利用者除いた)

通所・短期入所利用者28名(実施期間中に利用された利用者)

回答者数: 入所32名、通所・短期入所利用者22名

回答率 : 入所84, 2%、通所・短期入所利用者78, 6%

調査方法: 担当職員より聞き取り

内容 : ①行事食についての要望 ②食べたいもの

・嗜好調査でいただいた要望に、特に、食べたいものについては、順々に献立に理入れていった。

・鍋料理の前にも、食べたい鍋料理を聞き取りした。

鍋に〆の麺類を入れてほしいという要望が多かったので、3月の鍋料理で海鮮鍋にうどん、長崎ちゃんぽん風煮込みラーメン鍋にラーメンを入れたところ、長崎ちゃんぽん風煮込みラーメン鍋は、大変好評であった。

5. 健康教室

日付	内容	担当者	参加者数
4月22日	「睡眠と健康」	看護師	5名
5月30日	「脳トレ～脳にいいこと、悪いこと～」	作業療法士	10名
6月23日	「食中毒～飲みかけのペットボトルの危険性～」	管理栄養士	10名
7月22日	「口腔ケアについて」	生活支援員	5名
8月26日	「熱中症について」	生活支援員	9名
9月21日	「乾燥予防対策」	生活支援員	8名
10月22日	「ノロウイルス食中毒の特徴と食中毒予防」	管理栄養士	8名
11月25日	「インフルエンザについて」	看護師	12名
12月22日	「脳の活性化について」	作業療法士	11名
1月27日	「大気汚染について」	生活支援員	11名
2月25日	「花粉症」	生活支援員	10名
3月30日	「口臭予防」	生活支援員	9名

【反省・課題】

今年度は、食事が美味しくなったと利用者や職員から言われた。料理が美味しくなったことで、利用者が食事をより楽しみにしてくださって、残食なく召し上がっていただけるのは、健康管理を行っていく上で、とてもうれしいことだった。来年度も厨房職員と連携して利用者に満足していただける献立作りに心がけたいと思う。

摂食嚥下や口腔ケアに関しては、他職種と協同で問題のある利用者に対応していく。
 時には、利用者のかかりつけ歯科医師に相談をしたりして、「口から食べる」を支援していきたい。
 栄養管理の面では、栄養ケアマネジメントの実施のところで記述したが、突然食べなくなる利用者
 がいたり、褥瘡がなかなか完治しない利用者がいたり、脱水になりやすい利用者がいたりと問題をか
 かえている利用者がある中で、早期に対応できれば悪化を防げる可能性もあるので利用者の体調変
 化の情報を他職種と共用し利用者の健康管理に努めたい。

■総務係

施設運営事務全般に関わる業務、総務・運転業務・施設管理等を行った。

【活動内容】

- ・職員健康診断 夏期 8月 冬期 1月・2月に実施
- ・エアコン室外機点検を10月・11月に実施
- ・電気昇温貯湯槽点検・雨水濾過装置点検を4月に実施
- ・エレベーター点検を3か月ごとに実施(その他の月はリモート点検を実施)
- ・電気設備点検を隔月で実施
- ・窓・網戸清掃を4月・11月に実施
- ・床ワックス清掃を4月・8月・12月に実施
- ・浴槽レジオネラ検査を12月に実施
- ・施設内を巡視し給湯・雑用水・エアコン設備等の運転状況確認、節電の実施

〈備品、設備等の破損物修理をその都度実施〉

修理箇所	件数	修理箇所	件数
エアコン関係	19	サイドテーブル	1
水漏れ関係	7	一般浴槽リフト	1
扉・引き戸	5	浴室シャワー	1
配膳車	4	オートクレーブ	1
ベッド	4	体重計	1
ブレーカー・照明スイッチ	4	湯沸しポット	1
ナースコール	3	汚水排水つまり	1
乾燥機	3	目覚まし時計	1
換気扇	3	厨房スチームコンベクション	1
福祉車両	3	掃除機	1
洗濯機	2	扇風機	1
厨房食器洗浄機	2	パソコン	1
ストレッチャー	2	インターネットルーター	1
介護リフト	2	受水槽	1
トイレ便座	2	汚水処理装置制御盤	1
マットコール	1	浄化槽放流ポンプ	1
ウエットシート保温器	1	ガス遮断装置	1
リハビリテーブル	1		

【反省・課題】

年間の修理依頼をまとめると、エアコン関係が19件で最も多くなっている。利用者居室系統のKHP

4、KHP5、KHP6系統でEHP設備への入れ替えを実施(これにより全12系統のうち4系統でEHP設備への入替を完了)。また、KHP1など4系統は故障中のため、28年度に修理が必要な状況である。このほか、水漏れ関係が7件、扉・引き戸関係が5件となっており、配膳車、ベット、ブレーカー・照明スイッチがともに4件で続いている。

施設開設当初から12年余が経過して、エアコン設備に加え、ナースコール・電話設備でも修理部品の調達課題になりつつある。様々な修理依頼がある中、利用者にご迷惑をおかけしないよう対応していきたい。

■相談支援係

- ・サービス等利用計画案及びサービス等利用計画の作成
- ・継続サービス利用支援の作成
- ・サービス利用調整
- ・かたくりの里生活支援・入所支援係、地域支援係と連携
- ・西蒲区自立支援協議会への参加
- ・西蒲区健康福祉課、新潟市障がい福祉課と連携
- ・新潟市障がい者基幹相談支援センター、市内相談支援センター、新潟市地域包括支援センターと連携
- ・新潟市計画相談支援研究会への参加

【反省・課題】

- ・これまではかたくりの里入所者、通所者などかたくりの里と関係のある利用者の計画作成が殆どであったが、相談支援専門員の増員により、新規利用者の計画作成を行う事ができた。
- ・計画を作成する上で、障がい特性に関する知識の必要性を感じた。(特に精神障がい者)
- ・特定の利用者への対応時間が長くなってしまい、他の方のモニタリングが遅れてしまう事があった。

業務委員会

■職員の業務分担としての委員会活動報告

□権利擁護

1. 苦情・要望

	内 容	件 数
4月	他利用者に対して	1
6月	施設・他利用者に対して	1
7月	施設に対して	1
8月	他利用者に対して	2
9月	施設に対して	1
12月	介助方法や支援内容に対して	2
1月	介助方法や介助内容に対して	1
	施設に対して	1
計		10件 (全て解決済み)

- ・毎月の職員会議において、苦情・要望内容の報告を実施した。

・苦情・要望内容と1ヶ月後の評価を、毎月第三者委員へ報告を行った。

2. 虐待防止・権利擁護対策検討

①身体拘束等の廃止に向けた取り組み

- ・毎月の職員会議において、身体拘束等に関する報告を実施した。
- ・個別支援計画に組み込み、定期的に解除方法の検討を行った。

<今年度の身体拘束・解除状況>

H28年度2月4日～H27年2月24日

【入所】1件・・・心身状況の改善により、拘束解除に至る。

①権利擁護に関する啓発活動

平成27年度の中長期計画に基づき、障害者に対して適切な支援と、利用者及びご家族等の相談などに的確に対応できるよう、職員の障害に関する理解の促進を図るため、毎月の職員会議において、「意識向上ポイント」を職員に周知した。

4月	利用者に対するふさわしい呼び方について
5月	守秘義務・個人情報保護について
6月	身体拘束について
7月	身体拘束・除外の定義について
9月	基本的なマナー について①
10月	基本的なマナー について ②
11月	障害者差別解消法について ①
12月	身障協の権利擁護・虐待防止スローガンについて
1月	虐待について
3月	障害者差別解消法について②

③虐待のチェックリストの実施・・・11月に実施

④業務の振り返りチェックシート実施・・・3月実施

【反省・課題】

- ・意識向上ポイントを毎月職員会議にて啓発活動を行う予定だったが、実施出来ない月が2回あった。
- ・継続して啓発活動を実施しないと、職員への意識付けができないため、来年度も引き続き啓発活動を実施していく。
- ・今年度実施できなかったメタルヘルスケア活動に関して、来年度は方向性を考え実施していく。

□安全

【活動内容】

1、褥瘡対策

入浴時、排泄介助時等に身体の観察を行い、異常発見時はNSの確認後に褥瘡診療計画を作成した。支援員(介助方法)、管理栄養士(栄養強化の有無)、NS(処置方法)。OT(移乗、座位、臥位)で役割分担をし、専門性を生かして褥瘡予防に努めた。

年間を通じて10名の利用者に褥瘡が認められた。

- ・発生から1か月で完治した。0名
- ・良化と悪化を繰り返している。1名
- ・発生して1か月でかなり良化している。1名
- ・現在完治しており、常に予防に努めている。8名

【反省・課題】

職員間の連携により、発見から完治に向けた褥瘡診療計画は速やかに作成されており、それに基づいて対応をすることによって、ほとんどの方は短期間で完治することができた。しかし、なかには同様の場所に何度も褥瘡ができてしまう方がおられるため、今後は、予防に努めるとともに褥瘡ができる根本的な原因を探っていかなければならない。

2、特定行為対策

7月下旬に喀痰吸引等(第2号、3号)の事業者登録申請書類を県に提出し、9月1日より事業開始した。

3、事故・ヒヤリハットレポート対策

①事故報告集計・・・発生件数1件

(内容)

54歳女性。居室にて転倒し、左大腿骨頭下骨折で入院、手術となる。新潟市への報告を行う。
術後の経過良好でADLは受傷前の状態まで回復した。

(対策)

移乗の際は職員見守りにて行う事を前提とするが、脳挫傷の後遺症による記憶障害等がみられ、一人で行ってしまう。一人で行っても危険がないように居室環境を整える事と、繰り返し見守りの必要性を説明していく事とする。

(経過)

術後の経過良好で、受傷前の状態までADL回復した。その後、居室内の転倒は見られていない。
しかし転倒のリスクが高い方なので、引き続き声掛けや環境整備に努める。

②ヒヤリハットレポート集計

発生件数 72件

〈発生場所〉

場所	居室	食堂	浴室	トイレ	リハ	デイ	その他
件数	37	9	1	6	1	0	18

〈形態〉

形態	転倒	転落	誤嚥	誤薬	管抜去	離設	その他
件数	24	23	5	5	2	3	10

〈要因〉

要因	確認不足	技量不足	状態把握不足	環境整備不足	利用者不注意	その他
件数	13	3	25	20	8	3

【反省・課題】

転倒による骨折事故が1件発生した。集計からもわかるように、居室内での転倒、転落事例が多発している。利用者の障害レベルにあった環境整備が必要となるが、不十分であったと思われる。一人

一人を見守り続ける事は難しいが、環境を整える事で、被害を最小限に抑える事は可能と思われるので、継続して検討していきたい。

職員の確認不足による事例もあるので、防げるミスは確実に防いでいけるように職員間で声をかけあい、再発防止に努めたい。また、小さな事例でも報告する事で大きな事故を防ぐ事につながるので、引き続き報告する体制を整えていきたい。

4、感染症対策

①ノロウイルス食中毒対策

- ・今年度も、年間を通して、スーパー次亜水で施設内の消毒を行った。
 - ・今年度は新型ノロウイルスによる食中毒の大流行が心配されていた。ノロウイルス食中毒は、施設内から発生するのではなく、外部から持ち込まれたウイルスで感染者が出るケースが大半だと外部研修会で話を聞いたので対応を協議し、次の2つの対策をとった。
 - ・施設内の職員対象の食中毒研修において、手洗い等の徹底を呼びかけた。(1ケア1手洗い)
 - ・通所利用者は、施設外での生活時間が長く感染し易い環境にいることから、利用日の朝、来所されたら、まず手洗いとうがいを行っていただいた。
- 結果、施設内でのノロウイルス食中毒の発生はなかった。また、職員に疑いのある症状が出た人がいたが休養を取ってもらい感染拡大の防止に努めた。
- 通所利用者の手洗い・うがいについては、利用者に習慣づいてきたので、通年で継続していく予定である。

②、疥癬対策

昨年度に引き続き、疥癬にも注意を払ってきた。感染者は1名いたが、新規の感染者ではなく昨年度の感染者が再度罹患したものだ。他利用者や職員への感染拡大はなかった。

対応は、マニュアルに沿って行った。

③インフルエンザ対策

県内でインフルエンザが猛威をふるい1月からインフルエンザ警報が発令されていた。施設においては、1月22日から感染防止の為、男女更衣室に手洗い用の石鹸、うがい薬、うがい用のコップを用意し、外から施設内に入ってきた時に実施してもらうよう徹底した。よって、職員の家族が感染したとの報告を受けたが、職員が感染することはなかった。また、利用者のインフルエンザ感染もなかった。

【反省・課題】

ノロウイルス、インフルエンザの感染は利用者からは出なかった。引き続き感染予防に努めたい。

昨年度発生した疥癬の経験を活かし、疑いのある利用者対応はスムーズにできた。今後も感染症の感染防止、拡大防止に努めたい。

□生活向上

1. 入浴

【活動内容】

- ・入浴日程表の更新、見直し
- ・入浴チェック表の作成
- ・物品の管理
- ・浴室環境整備
- ・マニュアルの更新

【反省・課題】

- ・今年度は環境整備として利用者、職員の聞き取りを行い、着脱台の高さを調整した。
- ・これからも入浴を利用される方が安心・安全に利用できるよう努めていきたい。

2. 排泄

【活動内容】

- ・排泄用エプロン、バッグ、清拭保温庫の購入
- ・排泄チェック表の作成
- ・オムツ・パットの管理
- ・毎週のオムツ・パットの発注

【反省・課題】

- ・昨年度着用が定着していなかった排泄用エプロンの使用は定着した。
- ・清拭保温庫の故障に迅速に対応できた。日々の備品の管理を怠らないことが必要だと感じた。

3. 食事

【活動内容】

- ・食席を変更した。
- ・月一回給食会議への出席
参加利用者の出席を促す。
利用者から出た食事に関する意見を集める。
- ・2月、3月に行われた鍋料理の食席を決める。
- ・食席や食事に関する苦情、要望にその都度対応した。

【反省・課題】

以前より要望のあった食席の変更を行った。食事介助の必要な利用者が増えてくる事を考え、対応を考えて行かなければならないと感じた。

4. 整容

【活動内容】

- ・マニュアルの更新
- ・顔拭きタオル利用者のチェック表作成・管理(髭剃りを含む)
- ・爪切りチェック表作成・管理
- ・理容室利用者の調整(月2回)
- ・美容室利用者の調整、美容室との連絡調整(A社・・月1回、
B社・・2ヶ月1回)
- ・整容に関わる備品の整備
- ・口腔清掃の介助を行っている方のチェック表作成、管理
- ・口腔ケア用品の発注、管理
- ・歯とお口の治療管理表の伝達、管理
- ・歯磨き時の注意事項がある利用者は居室に「歯磨きの注意点」の図の掲示

【反省・課題】

- ・理容室の順番を守らずにトラブルが起きた。当日職員への申し送りにてスムーズな利用ができるよ

う配慮が必要。

- ・歯科受診の際に頂く歯とお口の治療管理表を支援に活用していきたい。
- ・生活向上委員会、担当職員を交え、口腔清掃などの介助を検討する必要がある。

□防 災

【活動内容】

日付	実施内容	備考
4月	避難訓練打ち合わせ、説明	
5月19日	春期夜間想定避難訓練	
5月20日	春期夜間想定避難訓練	
6月16、29日	防災教育 春期夜間想定避難訓練の反省と火災設備の説明(消火器、消火栓、防火扉等)	職員7名参加
7月	緊急連絡網訓練(メール)	
8月27日	防災教育 火災時の防火設備の説明(排煙装置)	職員8名参加
9月	秋季総合避難訓練の打ち合わせ、説明	
10月13日	秋季総合避難訓練	
1月	トランシーバー、差し込み電話の操作方法	
2月16日	緊急連絡網訓練(電話)	

【反省・課題】

- ・火災報知器誤作動訓練や、トランシーバーなど、新しい防災教育が増えてきたので、職員が周知できるよう毎年の計画に取り込み、行っていききたいと思う。
- ・火災発生時、避難誘導後の職員の連携の取り方について、消防署から指摘があった為、内線電話以外の方法を検討したい。

□環境整備

1. 備 品

【活動内容】

- ・消耗品の発注と管理、購入手配
- ・介護用品の管理、発注
- ・故障、破損物など修理依頼
- ・備品倉庫管理
- ・備品管理簿、備品貸出表の管理
- ・衣類紛失チェック表の管理

2. 環境整備

【活動内容】

- ・利用者の日常生活における環境整備、向上、職員業務の円滑さを目的とし、施設内環境整備、週間清掃、洗濯室掃除等の業務を遂行する

年間活動

4月	居室を含むワックス清掃、窓、網戸清掃
5月	布団交換
6月	エアコンフィルター及び換気扇パネル清掃、衣替え
8月	廊下ワックス清掃、夏季大清掃
10月	布団交換、衣替え
11月	サッシ・網戸清掃(10月予定が悪天候により11月に実施)
12月	冬季大清掃、居室を含むワックス清掃、扉のチェック
1月	エアコンフィルター清掃、引き戸点検・修理
3月	備品管理簿チェック

【反省・課題】

昨年度の反省のもと、南倉庫の名前なし衣類等の整理整頓を行い出し入れしやすいようにした。
また、居室の衣類棚に(特に乱雑になりやすい方)ラベルを貼り衣類集め・返却がスムーズにできるようにした。

研修

1. 研修

平成27年度の中長期計画に基づき、「多様化する障害への対応」として高次脳機能障害、強度行動障害等に関する研修会へ職員を派遣した。

①平成27年度施設外研修・会議

日時	研修・会議内容	場所	出席者
4月8日	障害福祉関係施設長会議	新潟テルサ	増田・亀山
4月16日	障害支援区分認定調査員研修	新潟県自治会館	相浦
5月20日	第1回西蒲区障害者自立支援協議会	巻地域保健福祉センター	星野
5月22日	第1回新潟市計画相談支援研究会	新潟市役所	星野・相浦
6月2日	高次脳機能障害相談支援研修会	県精神保健福祉センター	谷澤
6月2・3日	社会福祉施設新任職員研修	新潟ユニゾンプラザ	小峰
6月4・5日	関ブロ第1回施設長会議・職員勉強会	ベルクラシック東京	増田・堤・海津
6月10日	スキルアップ研修	新潟医療福祉カレッジ	石井
6月11日	西区・西蒲区ボランティア受入施設担当者研修会	西区役所健康センター	高橋(達)
6月12日	オープンスクール	県立東新潟特別支援学校	亀山
6月15日	安全運転管理責任者等法定講習	西蒲地区交通安全センター	増田
6月16日	福祉サービスに関する苦情受付担当者研修会	ハイブ長岡	亀山
6月16日	第2回新潟市計画相談支援研究会	新潟市役所	星野・相浦
6月23日	県身協第1回総会、施設長、庶務担当課長会議	ニューオータニ長岡	増田・近藤
6月25日	社会福祉施設職員【接遇】研修(初任者コース)	新潟ユニゾンプラザ	織田島
7月7日	社会福祉施設運営管理者研修	新潟ユニゾンプラザ	増田
7月2・3日	社会福祉施設中堅職員研修	新潟ユニゾンプラザ	本間(直)・熊谷
7月9・10日	全国身体障害者施設協議会研究大会	江陽グランドホテル	増田・藤口・諸橋
7月10日	下越地区県身協オセロ交流会	新潟ふれ愛プラザ	星野・海津・渡邊
7月13日	介護実習I実習報告会	新潟青陵大学	武石
7月16日	衛生管理指導会	新潟市民プラザ	五十嵐

7月17日	高次脳機能障害ケース検討会(第1回)	県精神保健福祉センター	相浦
7月24日	福祉サービス第三者評価受審事業者説明会	長岡地域振興局	亀山
7月30日	西蒲区役所4包括合同研修会	巻文化会館	五十嵐
7月30日	社会資源見学ツアー	新潟市南区・西区内	相浦
8月1日	日相支協関プロ・県相支協全体研修	新潟市総合福祉会館	増田・星野・相浦
8月3・4日	新潟県障害者虐待防止・権利擁護研修	新潟県自治会館	亀山・河合
8月20日	第16回「専門職のためのてんかん研修会」	西新潟中央病院	石井
8月20日	県身協職員研修会	ニューオータニ長岡	渡邊
8月20・21日	社会福祉施設指導的職員研修	新潟ユニゾンプラザ	海津・河合
8月21日	福祉関係者のための成年後見活用講座	燕三条地場産センター	亀山・相浦
8月21日	第3回新潟市計画相談支援研究会	新潟市役所	星野
8月25日	地域福祉コーディネーター育成研修	西蒲区役所	相浦
8月29日	ポッチャ講習会	県障害者交流センター	海津
8月30日	脳卒中・高次脳機能障害への就労支援研修会	燕労災病院	吉田
9月8日	バザーに係る食品衛生講習会	白根学習館	五十嵐
9月14日	認知症ケア・対応研修	新潟ユニゾンプラザ	齋藤
9月15日	ボディメカニクスに基づく介護技術研修	長岡こども福祉カレッジ	石井
9月17日	栄養管理指導会	新潟市民プラザ	五十嵐
9月17日	メンタルヘルス研修(一般職員コース)	新潟ユニゾンプラザ	石田
10月7日	第42回国際福祉機器展H. C. R	東京ビッグサイト	増田
10月7・8・21・22日	介護福祉士養成実習指導者特別研修会	新潟ユニゾンプラザ	亀山
10月8・9日	第36回関東甲信越身障協職員研修大会	つくば国際会議場	増田・星野・大平
10月15日	新潟県福祉サービス第三者評価講演会	新潟県自治会館別館	増田
10月16日	県身協支援担当課長会議	ニューオータニ長岡	亀山・堤
10月20日	成年後見活用講座(ステップアップ編)	新潟ユニオンプラザ	亀山・星野・相浦
10月21・24日	新潟県喀痰吸引等指導者講習	新潟県自治会館	和田
10月22日	第4回新潟市計画相談支援研究会	江南区福祉センター	相浦
10月28日	みんなで暮らせる地域づくりフォーラム	長岡リリックホール	増田・星野
11月2日	相談員・支援員のためのスキルアップセミナー	燕三条地場産センター	若月・相浦
11月2日	社会保障・マイナンバー制度事業者向け説明会	新潟県民会館	近藤
11月12・13日	防火・防災管理講習会(甲種新規)	新潟県建設会館	亀山
11月13日	県身協庶務担当者会議	ニューオータニ長岡	近藤
11月13日	新潟県サービス管理者等研修	新潟県自治会館	武石
12月10・11日			
11月18日	第3回西蒲区障がい者地域自立支援協議会	巻地域保健センター	星野
11月25日	年末調整説明会	新潟市巻文化会館	近藤
11月26日	ノロウイルス食中毒予防セミナー	新潟市民プラザ	五十嵐
11月27日	高次脳機能障害ケース検討会	精神保健福祉センター	相浦
11月28・29日	にいがたフォーラム11in長岡	ニューオータニ長岡	増田
12月2日	関プロ平成27年度第2回施設長会議	メトロポリタン高崎	増田
12月3・4日	強度行動障害支援者養成研修(基礎)	新潟県自治会館	堤・星野
12月10日	福祉サービス第三者評価受審事業者説明会	新潟県庁	堤・藤口・星野
12月15日	第5回新潟市計画相談支援研究会	新潟市役所	星野・相浦

1月6日	相談員・支援員のためのスキルアップ・セミナー	新潟ユニオンプラザ	大平・原
1月16日	福祉をかえる「アート化」セミナー	新潟県民会館	吉田・相浦
1月19日	社会福祉援助技術現場実習報告会	新潟青陵大学	高橋(達)
1月21日	第1回リハビリブラッシュアップ研修会	新潟ふれ愛プラザ	相浦
1月25日	災害福祉広域支援セミナー	新潟ユニゾンプラザ	増田
1月25・26日	全社協・全身協第15回地域生活支援推進研究会	TIME24ビル(東京)	田川
1月31日	障害を理由とする差別解消地域フォーラム	県民会館小ホール	河合・阿部(朝)
2月3日	第2回社会福祉トップセミナー	新潟ユニゾンプラザ	増田
2月4日	新潟市障がい福祉サービス事業管理者連絡会	万代シルバーホテル	増田・星野
2月8日	西蒲区役所4包括合同研修会	岩室地区公民館	相浦
2月18日	第6回新潟市計画相談支援研究会	新潟市役所	星野・相浦
2月19日	県身協第2回総会、施設長・庶務担当課長会議	ニューオータニ長岡	増田・近藤
2月19日	精神医療・保健・福祉関係者合同実践セミナー	県民会館小ホール	亀山
2月19日	相談援助実習報告会	新潟医療福祉大学	相浦
2月23日	精神保健福祉講座	巻地域保健福祉センター	亀山
2月24日	電気安全説明会	電気保安協会	近藤
2月25・26日	関プロ第2回総会・大3回施設長会議	軽井沢プリンスホテル	増田
3月2・3日	強度行動障害支援者研修(実践)	新潟ユニオンプラザ	堤
3月7日	高次脳機能障害ケース検討会(第3回)	県精神保健福祉センター	相浦
3月9日	新潟県サービス管理責任者現任研修	新潟県自治会館	亀山
3月10日	にいがた救命サポーター制度に係る応急手当講習会	新潟市消防局	亀山
3月10・11日	全身協第28回経営セミナー	全社協灘尾ホール	増田
3月22日	障害者総合支援法等関係説明会	新潟テルサ	増田・近藤

②平成27年度職場内研修

月日	内容	参加人数
4月24日	福祉車両講習	2名
5月7日	福祉車両講習	2名
6月17日	福祉車両講習	1名
6月17日	食中毒について	10名
6月19日	食中毒について	7名
6月26日	福祉車両講習	1名
7月7日	ケアガイドラインについて	8名
7月16日	福祉車両講習	1名
8月6日	福祉車両講習	1名
9月9日	高次脳機能障害について	4名
9月16日	福祉車両講習	1名
9月17日	福祉車両講習	1名
10月22日	ノロウイルスについて	4名
11月3日	ノロウイルスについて	7名
11月5日	ノロウイルスについて	2名
12月16日	応用行動分析学に基づく実践	8名

③その他

- ・新人研修マニュアルを作成した。
- ・個別支援チェック表の更新を行った。

【反省・課題】

今年度の監査での口頭指導の中で、施設内法人内で実施した研修の報告記録、外部研修参加者による伝達研修記録等の不備が指摘された。来年度はしっかりと整備していきたい。

2. 実習生受け入れ

期間	学校名	実習名	人数
5月14日～6月17日	新潟医療福祉カレッジ	介護実習	1名
6月 8日～6月20日	新潟こども医療専門学校	保育実習	1名
6月 8日～6月24日	新潟青陵大学	社会福祉援助技術現場実習	1名
8月31日～9月30日	新潟医療福祉大学	相談援助実習	1名
9月28日～10月10日	新潟こども医療専門学校	保育実習	1名
10月13日～10月29日	新潟青陵大学	社会福祉援助技術現場実習	1名
11月 2日～12月 3日	国際こども・福祉カレッジ	相談援助実習	1名
2月29日～3月11日	新潟青陵大学	介護実習	1名

【反省・課題】

昨年度に比べ、多くの実習生の受け入れを行った。滞ることなく、スムーズに受け入れることができた。実習生受け入れマニュアルを更新したので、来年度はマニュアルを活用し、より職員間の連携を密にして充実した実習となるように取り組んでいきたい。

□日中活動

1. 日中活動

【活動日】 日中活動予定表に沿って実施

【活動時間】13:45～14:45

【活動場所】各項目に記載

①カラオケ

【活動内容】地域交流スペース

- ・2台の大型テレビを使用し、一人1～2曲カラオケを楽しんで頂く。

【感想・反省】

- ・毎回参加者も多く、盛り上がっていた。利用者同士でデュエットをしたり、思い思いに楽しまれていた。

②スポーツレクリエーション

【活動内容】地域交流スペース

風船バレー、カーリンコン、ポッチャ

【感想・反省】

- ・去年度より引き続き、ポッチャを日中活動として組み込んでいるが、ルールの周知が上手くいっておらず、対応できる職員がいらないことから中止になることがあった。

③手工芸

【活動内容】日中活動スペース

- ・壁面飾り作り、プラバン、染め物などの作業活動、作品販売(文化祭、外部行事)

【感想・反省】

- ・正面玄関前の壁面飾りで、季節を感じる作品作りができた事と、その発表の場を設ける事が出来たので、来年度も続けていきたい。
- ・今年度も前もって何を行うかを決める事が出来ずに準備不足な点が多かったので、事前準備を行い、スムーズな作業が行えるようにしていきたい。
- ・今年度も施設内外の行事にて販売をする機会を設けた。地域のイベントを中心に参加し、作品を楽しみにしているという声も聞こえるようになってきた。また、利用者も販売等目標があることで、作成意欲も高まり、活動の参加者が多くなってきたので、今後も体制を整備しながら地域への参加も取り入れていきたい。

④書道

【活動内容】地域交流スペース

- ・自由発想(手本なし)で書く。
- ・手本を基に書く。

上記いずれかの方法で書いた作品を施設内に展示し、施設外の作品展に出展した。

【感想・反省】

- ・参加者は思い思いに書道を楽しんでいた。

⑤ゲーム

【活動内容】日中活動スペース

- ・日曜日はWiiを使用し、テレビゲームを行った。

【感想・反省】

- ・グループでのゲーム活動(ビンゴやペットボトルボーリング、射的等)を再開する流れで検討している。

⑥映画

【活動内容】1階会議室

利用者からのリクエストを中心に映画を上映する。

【感想・反省】

- ・様々なジャンルの作品を上映し、参加者に楽しんで頂けた。

⑦調理レク

【活動内容】日中活動スペース

- ・職員、利用者と共に調理を行い、出来上がったものをおいしく頂く。

月 日	内 容	参加人数
4月15日	いちご大福	32名
5月15日	フルーツたっぷりクレープ	34名
6月29日	フルーツポンチ	33名
7月24日	焼とうもろこし&ずんだもち	28名
8月12日	スムージー	31名
9月11日	みたらしだんご	28名
10月26日	紫芋のタルト	29名
11月18日	海老せんべいチーズせんべい	29名

12月18日	ブッシュドノエル	35名
1月19日	ねりきり	35名
2月17日	ガトーショコラ	34名
3月15日	ラスク	32名

【感想・反省】

- ・参加人数は平均して多く、皆さんにぎやかに楽しく行っていた。
- ・調理に参加していないのに食べられることが不評であったため、参加者のみ実食可能とした。

2、外出支援

【活動内容】

利用者の外出希望アンケートの実施・外出計画の作成(日程・車両調整等)。

時間帯：10:15～15:00

日付	行先	利用者数
4月1日	ダイソー、うお座	1名
4月10日	レガーロ+散歩	1名
4月11日	上堰潟公園	1名
4月22日	新潟西イオン	2名
4月28日	県央イオン+魚米	2名
4月29日	ドライブ	1名
5月13日	買い物	1名
5月26日	新潟アピタ	1名
5月27日	新潟南イオン	1名
5月29日	ドライブ+買い物	1名
6月15日	巻、岩室周辺	1名
6月17日	サンキ+里味	1名
6月23日	メガネ工房+リオンドール	1名
6月26日	小新アピタ	1名
6月30日	マリンピア日本海	2名
7月14日	電気屋+ドライブ	1名
7月16日	マリンピア日本海	1名
7月30日	魚米+買い物	1名
7月31日	ドライブ+買い物	1名
8月6日	新潟空港	1名
8月10日	ドライブ+買い物	1名
8月27日	買い物	1名
9月2日	ドライブ+買い物	1名
9月11日	小新イオン	1名
9月16日	買い物+食事	1名
9月17日	亀貝きらめきタウン	1名
10月1日	自宅	1名
10月7日	燕三条駅公演	1名
10月8日	吉田方面	1名

10月9日	マリンピア日本海	1名
10月21日	自宅+買い物	1名
10月27日	アピタ西	1名
11月11日	新潟方面	1名

【感想・反省】

今年度も特に大きな事故もなく、参加された利用者も、欲しいものを買えた、いい気分転換になったなど、充実した感想などが多く聞かれた。来年度もこういった充実した外出支援ができるように努めていきたい。

3. 施設行事

①運動会 6月実施

内容:大玉送り、玉入れ、サイコロレース、パン食い競争、混合リレー

【感想・課題】

楽しかったと入所者からの意見が聞かれた。準備や競技の方法で段取りが悪かったところがあり、再検討が必要。

②かたくり祭 10月実施

内容:ボランティアによる「よさこい」「車いすダンス」、他施設による作品販売・ワークショップ、飲食類販売。作品展示。全体をハロウィンで装飾する。

【感想・課題】

入所者の飲食引換券を誰が管理しているかで、混乱が生まれた。地域から多数の観覧者が来られ、良い交流の場が作れた。職員間での情報共有不足があり、計画の段階から配置職員の見直しが必要だと感じた。

③クリスマス会 12月実施

内容:ビンゴ大会(景品付き)ケーキ選択

【感想・課題】

平日に開催したことにより、通所利用者も参加することができ、職員配置も増えた。ビンゴを日中活動スペースで行ったことで、2階でのケーキ類の準備がしやすかった。行事内容の職員間での情報の共有不足があった。

4. 外部行事

①共生フォーラム

【活動内容】

- ・参加者利用者の選定・計画の立案を行った。
- ・当日利用者4名参加。職員3名とボランティア2名(学生含む)で対応。
- ・作品展示の作品提供。
- ・事前会議への参加(職員のみ)

【反省・課題】

- ・フォーラム担当職員の連携不足で事前準備が遅くなってしまった。参加利用者の選定方法や参加方法など検討が必要だと思う。
- ・参加利用者は地域で暮らす方や他施設の方との交流の場が持てた事で刺激になった様子だった。
- ・作品展示により施設外の方に作品や活動を見て頂けるので、今後も協力していきたい。

②県新協オセロ交流会・スポーツ交流会

【活動内容】

- ・参加選手の選定・計画の立案を行った。

5、ボランティア

【活動内容】

- ・ボランティア行事・施設行事の際のボランティアの依頼。
- ・入居者利用の、傾聴ボランティア補助。
- ・個人ボランティアの活動のサポート

実施月	活動内容	ボランティア人数
4月	マンドリン演奏会	2名
6月	お茶会	9名
7月	マンドリン演奏会	2名
9月	かたくり祭ボランティアの依頼	13名
	藍染め	2名
10月	マンドリン演奏	2名
	音楽ボランティア	6名
12月	岩室保育園児による発表会	24名
	門松作り	5名
1月	餅つき	4名
2月	音楽ボランティア	5名

【感想・反省】

各ボランティア行事に関して、多くの利用者が参加され好評だった。傾聴ボランティアのサポートに関しても大きな問題なく終えることができた。ボランティア行事、傾聴ボランティアのサポート等円滑に行えるよう引き続きサポートしていきたい。

また個人ボランティアとして主に日中活動の補助として活動されていた方が、6月末にて本人希望にて活動終了した。今回の経験を活かしボランティア希望の声が聞かれた際には、活動しやすいような環境作りや配慮が行えるようにしていきたい。

6. 図書・購買

①図書

- ・本棚の整理を行う。
- ・現在、在宅図書サービスの利用、1名。

【感想・反省】

- ・雑誌は現在の状況で利用者の方から意見等ないので様子を見ていく
- ・1Fの新聞コーナーでスポーツ新聞が読みたいとの声もあり1部購入する事を検討している
- ・DVDを余暇時間に観る方が増え、現在とっている新聞、雑誌で図書は十分な感じである

②購買

- ・毎週月曜(むつみ屋)、火曜日(リハビリ病院売店)に購入希望のファックスを送り、水曜日(むつみ

屋)、土曜日(リハビリ病院売店)に品物を受け取る際に、支払等の援助を行った。

・東京屋さんより施設に来て頂き、衣料品販売を行った。

【感想・反省】

・年に1回の衣料品販売は好評の為、今後も続けて行きたい。

・日用雑貨から嗜好品までほぼ購入出来ており、問題なく行えている。

・衣料品に関しては好評だが、年一回(冬場)しかなく同じ業者の為、来年度は現在と違う時期、違う業者のものも試しに呼んで行こうと検討している。

7. 自治会

【活動内容】

・毎月第4木曜日「利用者と施設の話し合い」の司会進行。

・月間予定表の貼り出し。

話し合い内容

実施日	参加利用者数	内 容
4月23日(木)	31名	空調工事のお知らせ。
5月28日(木)	30名	自治会費についてのお知らせ。空調設備について。
6月25日(木)	28名	職員動向、募金助成について。
7月23日(木)	30名	かたくり祭りについてのお知らせ。
8月27日(木)	32名	空調設備についてのお知らせ。
9月24日(木)	30名	国勢調査について。
10月29日(木)	34名	空調機点検の結果について。
11月26日(木)	28名	指導監査及び実地指導について。
12月24日(木)	32名	年始行事についてのお知らせ。
1月29日(金)	33名	空調不具合の経過、職員動向について。
2月24日(水)	30名	空調設備についてお知らせ。
3月24日(木)	31名	28年度事業計画について。 介護職員補充についてのお知らせ。

□情報管理

【活動内容】

月	情報管理	広報
4月	支援記録PC化の見直し	かたくり通信35号発行
5月		写真掲示・印刷・配布
6月		広報誌発行準備開始
7月		写真掲示・印刷・配布
8月	広報用個人情報に係る同意書の聞き取り	かたくり通信36号発行
9月		写真掲示・印刷・配布 広報誌作成ソフト購入
11月		広報誌発行準備
12月		かたくり通信37号発行
1月	かたくりの里業務マニュアル編集作業	写真掲示・印刷・配布
2月	入所者個人情報更新	

※通年活動

- ・書類管理・整理、スタッフルームホワイトボード管理、かたくりの里ホームページ管理
- ・行事の際の写真撮影

※随時更新

- ・かたくりの里facebookの更新

【反省・課題】

- ・今年度も法人広報誌を作成することができなかったが、その分、施設広報誌を作成し、利用者や御家族、関係各所に送付し、かたくりの里での活動を報告することができた。
- ・8月～9月にかけて、広報誌・個人情報に係る同意書の聞き取り調査を行い、それに基づき広報誌や写真掲示において利用者・御家族の意向に沿った対応をすることができた。
- ・来年度、福祉ソフトの更新にあたり、マニュアル作成等、迅速に対応していきたい。
- ・かたくりの里での活動内容をもう少しアピール出来たらよかったと思う。今後の課題として取り組んでいきたい。

□ノーリフト対策検討会

かたくりの里において、平成26年度に実施した「職員の介護負担に関するアンケート」において、約7割の介護職員が体に痛みを抱えていることがわかった。そういった現状をふまえ、欧米の介護・看護現場で導入されている「ノーリフトポリシー」をかたくりの里においても周知し、一人でも多くの腰痛等で悩む職員が減ることを目標にプロジェクトチームとして平成27年度より発足した。平成27年度中長期計画に基づき、取り組みを実施した。

【活動内容】

1、ノーリフトポリシーの周知

各種会議でノーリフトポリシーについての説明を実施した。

2、介護負担アンケートの実施(12月)

生活支援員を対象に実施した。腰痛等を抱えている職員は全体の6割だった。

体位交換時に負担を感じる職員が多かった。

その他、負担を感じる場面、リフト等の稼働状況、職場での腰痛体操の実施の意向確認等をアンケートにより把握することができた。

3、福祉介護機器等の試行・導入

①移乗用リフト

- ・介護負担アンケートをもとに、負担の多い場面から優先的に検討した。
- ・対象者の同意の上、検討・試行し、利用者にとって安楽でスムーズに使用できるように環境整備、リフト・スリングの選定を行った。
- ・職員に対しては委員を中心に指導役となり、職員全員に周知できるようマニュアルとチェック表を用意し周知を図った。

【平成28年度 導入実績】 3件

- 7月 ベッド固定式リフト1台
- 8月 据置型天井走行リフト1台
- 2月 据置型天井走行リフト1台

※すべて入所者居室内に設置

②スタンディングマシン(手動式)

トイレ移乗時の負担軽減のためにデモ機借り検討した。

③腰部サポートウェア「ラクニエ」

腰痛を抱えている職員向けに、業者よりレンタルした。

4、環境改善の取り組み

- ・浴室の着脱台が低く、利用者・職員共に移乗時に負担があった。
→浴室着脱台の高さを高くすることで、職員・利用者双方において移乗がスムーズになった。
- ・利用者数名に対して、床面上での機能訓練を実施しているため、職員2名にて車椅子への移乗を行っていたが、負担が大きかった。
→機能訓練室の訓練台を広くすることで、訓練台での機能訓練が可能となり、移乗時の負担が解消された。更に床走行式リフトを使用することで更なる負担軽減となった。

5、職員のセルフケアの取り組み

- ・厚労省HPより「腰痛予防エクササイズ」を職員に紹介した。
- ・介護負担アンケートの結果では職場での腰痛体操を希望する職員は3分の2もいることがわかった。

【反省・課題】

年間を通して、少ない活動の中で、着実に取り組みを実施することができた。特に、移乗用リフトや環境改善に成果を残すことができた。しかし、リフトの導入はしたが、講習会の開催など、職員への伝達が円滑に行うことができなかった。来年度より、「ノーリフト対策検討」は安全委員会の活動の中で「腰痛予防対策検討」を行う予定である。引き続きアンケートをもとに把握した負担の多い場面の改善を図る共に、改めてノーリフトポリシーの周知を行うこと、職員のセルフケアの取り組みにも力を入れていきたい。

□業務検討会

【活動内容】

平成27年度中長期計画に基づき、第三者評価基準・ケアガイドラインから、かたくりの里が取り組まなければならない事、施設としてあるべき姿の想定、サービス向上、業務の効率化等の課題や、運営項目についての議題を抽出し、改善点として提案した。課題やテーマの提案や改善は業務検討会において、PDCAサイクルを意識して改善計画、実施計画・実行・評価・改善、是正処置を実施した。

1、第三者評価・ケアガイドラインの活用について

新潟県福祉サービス第三者評価受審説明会へ職員三名派遣した。

全身協のまとめたケアガイドラインの活用法について研修し、今後の施設内での活用方法を定めた。

2、活動報告シートにて改善提案を行ったもの

浴室着脱台の高さ調整を行い、職員、利用者の負担軽減を図った。

給湯室にベビーフェンスを設置し、給湯室での事故防止に努めた。

居室内にリフターを設置し、ベッドと車椅子の移乗を安全・安楽にした(2件)

利用者への影響が少ない電気料の削減に向けた取り組みを提案したが、諸事情により保留となる。

特定利用者の食事環境を整えることによる誤嚥予防を行った。

通所生活介護の迎え時間の変更による入浴時間確保と受け入れ人数の増加を図った。

3、その他

2階食堂上部からの日差しが強く、要望にて葦簀を設置した

支援が困難な利用者の対応検討を行った。

職員に対する威圧的な態度、暴言は言う利用者について

喫煙のルールを守らない利用者について

【反省・課題】

ケアガイドラインの活用から問題点をあげ、サービスの質の向上を図るという目的が掲げてあったが、具体的活用方法を定めることで1年が終わってしまった。また、第三者評価の自己評価の取り組みは進めることができなかった。

グループ会議を不定期開催にしたことで、なかなか開催しにくいという結果になり、利用者のケース検討や、細かな議題が多く持ち込まれてしまった。小さな規模の会議を求める声もあるため検討したい。改善提案に関しては一定の効果が認められるもので、今後も多くの改善ができるよう努めたい。

■平成27年度 障がい福祉施設等指導監査

監査対象:施設入所支援、生活介護、短期入所

実施日時:平成27年11月20日(金) 9:30~16:00

担 当 :新潟市福祉部福祉監査課

実施結果:報告を求める事項 0件 報告を求めない事項 9件

【指摘内容】

- ・入札調書に入札執行者の署名がありませんでしたので、漏れのないようにして下さい。
- ・修繕工事の完了検査の記録がありませんでした。検査を行った際は検査調書等により記録を残して下さい。
- ・寄付金について、寄附者の意思を確認するため、寄附申込書を記載させ、保存して下さい。また、その際は寄附金品受領伺い等により、受領権限を有する者から承認を受けて下さい。
- ・小口現金について、指導監査当日の現金残高と帳簿残高が一致していませんでした。日々出納帳に記載し、現金残高と帳簿残高を照合して下さい。
- ・1階正面玄関横の倉庫について、職員が不在にする際には施錠をするなど、事故の予防に努めて下さい。
- ・重要事項説明書内の苦情解決のしくみについて、苦情解決責任者と第三者委員(氏名・連絡先)を追記して下さい。
- ・サービス管理責任者、機能訓練指導員、栄養士について辞令が確認できないものがありました。確認し、辞令を交付していないものについては交付し、控えを施設として保管して下さい。

- ・脱衣室の棚について、転倒予防のため、必要な措置を講じて下さい。
- ・入所者の預かり金について、親族への収支報告を行った際は、その記録を残して下さい。また、親族等からその内容を確認した旨の書類を徴して下さい。

6 外部行事参加状況

■下越地区県身協オセロ交流会

平成27年7月10日(金) 新潟ふれ愛プラザ(新潟県障害者交流センター)

<参加者> 3名(1チーム)

<結果> 優勝

■下越地区県身協スポーツ交流会(カローリング & ボッチャ)

平成27年10月6日(火) 新潟ふれ愛プラザ(新潟県障害者交流センター)

<参加者> 3名(1チーム)

<結果> カローリング 1回戦敗退

ボッチャ 優勝

<感想・反省>

今年度は当番施設のため、5月頃より準備をすすめた。当日は試合の時間設定がうまくいかず、時間が余ってしまったが、交流会を開催することで時間を有効に使うことができた。全体的には、準備段階から本番まで円滑に準備できた。平成28年度のスポーツ交流会はボッチャのみになる予定。

■たすけあい・ささえあい・共生フォーラムin西蒲

平成27年11月7日(土) 巻地域保健福祉センター

<参加者> 3名

7 補助金・助成金 事業報告

■平成27年度結核予防費補助金 19,008円

■新潟県遊技業協同組合

新潟県共同募金会福祉車両助成 3,000,000円